

平成29年度 学校自己評価結果（教職員対象）

☆総括 全項目平均 「3.26」（昨年3.52）（一昨年3.4）（回答数10 管理職を除く）
昨年より0.26下降しているもののおおむね充分であると判断できる。

評価基準【 4:十分である、3:おおむね十分である、2:やや不十分である、1:改善を要する】

今年度は、ほぼ全項目で3.2以上の自己評価となつてはいるが、学校経営方針、進路指導、事務部運営、遠隔授業、丹頂プランとほぼすべての項目で評価が若干下がっている。母数が少ないため一人の数値が全体に大きく影響することもあり、教職員の入れ替わりによるものと考えられる。下げ幅の最も大きかった項目は4-④・9-③(0.6減)、2-①・5-④・7・8-①(0.5減)であり、今後一層の努力を要する項目と考えられる。昨年度よりも評価が上がった項目は6-④のみだった。

評価が低かった項目は例年通り家庭学習の定着を図る指導や基礎学力向上のための指導であり、進路実現に向けての個々の生徒の意識の向上も今後の課題にあげられる。さらに、遠隔授業は、教科の固定による安定感が逆に評価を下げてしまったと考えられ、今後の全教職員での取り組みの検討が必要である。

※評価点の高い項目(3.2以上)は◎で示した。< >内は昨年の値。

	平均	評価点
1 学校教育目標(一人一人を大切に、豊かな心の育成をめざす)		
① 夢と希望を持ち、意欲的に学ぶ心	3.1 <3.3>	◎3.3
② 誠実に協力し合い、人を思いやる心	◎3.4 <3.6>	<3.5>
③ 心身を鍛え、健康・安全に努める心	◎3.3 <3.5>	
④ 地域文化と自然を愛する心	◎3.3 <3.5>	
2 学校経営方針		
① 自他の生命を尊重し、確かな学力を育む教育活動の推進	3.0 <3.5>	◎3.3
② 家庭や地域、関係機関等と連携を密にし、信頼される学校へ	◎3.4 <3.6>	<3.7>
③ 教職員の共通理解と実践で、いじめのない安全・安心な学校へ	◎3.4 <3.8>	
④ 特別支援教育の理解を深め、個に応じた教育の推進	◎3.5 <3.8>	
⑤ 服務規律を遵守し、学校経営参画意識を持つ教職員集団の構築	◎3.2 <3.6>	
3 学習指導		
① 学び方の指導や授業規律を重視し、基礎・基本的事項の徹底を図る指導に努める	◎3.4 <3.5>	◎3.2
② 体験的な学習や個に応じた指導を重視し、学ぶ喜びを体得させる指導に努める	◎3.5 <3.6>	<3.4>
③ 学習意欲を引き出す、シラバスづくりや、学習形態の工夫・改善に努める	◎3.3 <3.5>	
④ 家庭での学習習慣の定着を図る指導に努める	2.6 <2.9>	
4 生徒指導		
① 心のふれあいを重視した人間関係を基調とした指導に努める	◎3.2 <3.5>	◎3.4
② ルールの必要性を理解させ、人としての在り方生き方を考えさせる指導に努める	◎3.5 <3.8>	<3.7>
③ 生徒、保護者との連携を密にし、指導体制の充実に努める	◎3.4 <3.6>	
④ 情報を共有し合う態勢を整え、事故などの未然防止に努める	◎3.3 <3.9>	
5 進路指導		
① 各種行事を通して望ましい勤労観・職業観の育成に努める	3.1 <3.5>	◎3.2
② 生徒理解に努め、個に応じた進路指導の実践に努める	◎3.3 <3.6>	<3.5>
③ 資料整理を行い、情報提供及び必要な情報を入手できる環境づくりに努める	◎3.3 <3.4>	
④ 内外の各機関との連携を密にし、進路支援体制の充実に努める	3.1 <3.6>	
6 健康安全指導		
① 健康相談等を通して自ら進んで健康管理できる能力、実践力の育成に努める	◎3.3 <3.3>	◎3.5
② 関係諸機関と連携を図り、計画的・効果的な保健指導や体力づくりの実践に努める	◎3.5 <3.5>	<3.4>
③ 全教育活動を通して、自他の生命を尊重し健康安全に係る意識を高め事故防止に努める	◎3.4 <3.5>	
④ 清掃や奉仕活動等を通して、学習環境、地域環境を整備し美化意識の育成に努める	◎3.6 <3.5>	
7 事務部運営		
① 各分掌、学年、委員会との連携を図り、教育活動を支援する	◎3.2 <3.7>	◎3.2
② 常に創意・工夫した事務改善を行い、学校事務の効率化を図る	◎3.3 <3.8>	<3.7>
③ 適切な予算編成と計画的に予算を執行する	◎3.2 <3.7>	
④ 施設・設備の整備充実に努め、よりよい教育環境の実現をめざす	3.1 <3.6>	
8 遠隔授業		
① 個に応じた指導の充実(受信側教員の評価方法の充実)に努める	3.0 <3.5>	◎3.2
② 学習の選択幅の拡大(他教科への導入の研鑽)に努める	3.0 <3.4>	<3.5>
③ 指導力の向上に努める	◎3.3 <3.5>	
④ 教員の資質向上に努める	◎3.3 <3.7>	
9 丹頂プラン(の推進・実現状況)		
<目指す学校像>		◎3.3
① 学ぶ喜びのある 学校(社会に適用する力)	3.1 <3.4>	<3.6>
② 仲間と成長できる 学校(コミュニケーション力)	◎3.2 <3.5>	
③ 安心した生活ができる 学校(落ち着いた学習環境)	◎3.4 <4.0>	
④ 地域から信頼される 学校(地域と共に発展)	◎3.4 <3.4>	
<目指す生徒像>		
① 当たり前の実践ができる 生徒(挨拶やマナー)	◎3.3 <3.3>	3.1
② 社会に適用する力を持つ 生徒(基礎基本の学力)	2.8 <2.8>	<3.1>
③ 自立精神と積極性を持つ 生徒(進路実現)	3.0 <3.1>	
④ 地域への貢献ができる 生徒(地域の文化や自然)	◎3.2 <3.4>	
<目指す教師像>		
① 生徒を愛し共に伸びる 教師(愛情)	◎3.2 <3.6>	◎3.3
② 目標達成に向け邁進する 教師(実践)	◎3.3 <3.5>	<3.5>
③ 保護者や地域から愛される 教師(信頼)	◎3.3 <3.5>	

※成果・課題・改善の方策等の意見については裏面に記載。

成果・課題・改善の方策等の意見

1 学校教育目標

- ・学習意欲の喚起、進路目標に課題

2 学校経営方針

・

3 学習指導

- ・家庭での学習 日常的にできたら良い（考査前は皆がんばる）

・

・

4 生徒指導

・

・

5 進路指導

・

6 健康安全指導

- ・肥満が多い

7 事務部運営

- ・施設・設備の充実には大きな課題があると思う。

8 遠隔授業

- ・機材の不具合で授業が中断してしまうのを改善しなければいけないと思う。

9 丹頂プラン（の推進・実現状況）

- ・学校生活、授業、部活動など様々な面からより徹底して＜目指す生徒像＞の実現を行なうべきだと思う。

・

・

・

10 その他